

日本初の総合的マンガ収集・研究機関 「京都国際マンガミュージアム(仮称)構想」の策定について

日本のマンガやアニメが世界的に大きな注目を集め、現代の重要な表現の一つとして認知されつつある中、この度、国際文化観光都市・京都の発展を目指す新たな都市戦略として、マンガ・アニメの拠点施設である「京都国際マンガミュージアム(仮称)」構想を下記のとおり策定しました。

この構想は、日本唯一のマンガ学科をもつ京都精華大学と共同で策定したもので、京都市と京都精華大学との共同事業として、元龍池小学校(中京区)の既存の校舎を改修し、平成18年秋の開設を目指します。本ミュージアムが完成すると、生涯学習・文化・観光・産業振興など、幅広い分野で限りない可能性を秘める「マンガ」の研究・人材育成・学習・収集・展示等の機能を備えた日本初の総合機関となります。

なお、このミュージアム整備に加え、平安時代の「鳥獣戯画絵巻」が伝わる京都の文化を国内外に向けてアピールするとともに、マンガを通じた国際文化交流を図るため、平成20年度までにマンガ研究に関する国際的イベントの誘致を図ります。

記

1 機能

(1) 研究機能(開設時/第1次事業展開)

- * マンガの文化史や教育との関わり、著作権等に関する研究
- * 収集した各種資料の基本データベース作成
- * マンガ情報センター機能や国内外の研究機関との交流機会の整備(開設後/第2次事業展開)

(2) 人材育成・新産業創出機能(開設後/第3次事業展開)

蓄積された研究成果の実用化・事業化による人材育成と産業創出を図る。

- * 専門技術者(キャラクターデザイナー、CGアニメーター等)の育成
- * 産学公連携による研究開発
- * ベンチャービジネス支援

(3) 生涯学習機能(開設時/第1次事業展開)

京都精華大学マンガ学科からの講師を招き、生涯学習講座を市民に提供する。

- * ワークショップ
- * 各種公開講座 等

(4) 図書館・博物館機能(開設時/第1次事業展開)

現代の国内マンガ本を中心に、江戸末期以降のマンガ関連歴史資料や、世界各国の著名マンガ本、雑誌、アニメーション、映画フィルム等を収集・展示(マンガ本等の収蔵数は日本最多の23万点以上)。また来館者向けのショップを併設する。

<図書館機能>

- * 市民や観光客等にマンガ本等を開放
- * マンガに関する調査・相談
- * 京都市の図書館との連携

< 博物館機能 >

* 常設展示

* 企画展示

* 作家の作品発表の機会の提供

2 設置場所

元京都市立龍池小学校（中京区烏丸通御池上る）

3 施設規模

3, 0 0 0 m²程度（概算）

4 事業主体

京都市，京都精華大学

5 開設時期

平成 1 8 年秋

6 今後のスケジュール等

1 8 年 4 月

施設改修着手

1 8 年秋

施設改修完了・開設

～ 2 0 年度

マンガ研究に関する国際的イベントの誘致

